

実はうりこ……レポートって

どう書くか知らなかった



附属図書館マスコットキャラクター うりこ

実はうりこ……レポートって

どう書くか知らなかった

ステップ5. 書く

附属図書館マスコットキャラクター うりこ

授業でレポート課題がでた

「SDGs（持続可能な開発目標）
の中から任意の1つを取り上げて、
日本がすべき取り組みを提
案しなさい。」文字数：1,500字程度

うりこ👩🏻は問いを考えた！

SDGs（持続可能な開発目標）の
目標5「ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女
児の能力強化を行う」ため、**日本において男女の賃金格
差はなぜ生じるのか、どうすれば解消できるか**を考える

授業でレポート課題がでた

「SDGs（持続可能な開発目標）の中から任意の1つを取り上げて、日本がす
べき取り組みを提案しなさい。」

文字数：1,500字程度

うりこは問いを考えた！：

SDGs（持続可能な開発目標）の目標5「ジェンダー平等を達成し、すべての
女性および女性の能力強化を行う」ために**日本において男女の賃金格差はな
ぜ生じるのか、どうすれば解消できるか**を考える

レポート執筆の5ステップ

1. テーマを決める
2. 問いを立てる
3. 論点を探す
4. 組み立てる
5. 書く



司書さん

アウトラインができたなら、レポートを書いていきましょう。

レポート執筆の5ステップ

1. テーマを決める
2. 問いを立てる
3. 論点を探す
4. 組み立てる
5. 書く

司書さん：アウトラインができたなら、レポートを書いていきましょう。



うりこ：いよいよか……

チェックポイント①

レポートの型をチェック！



司書さん

レポートには、相手に分かりやすく伝えるための形式があります。

チェックポイント①

レポートの型をチェック！

司書さん：レポートには、相手に分かりやすく伝えるための形式があります。

レポートの「型」（何を書くか）

序論	テーマについて説明し、問題提起。
本論	根拠を示しながら考察を行い、問題解決に至る。
結論	問題提起から解決までを振り返る。
+	
注・参考文献リスト	

レポートの「型」（何を書くか）

序論：テーマについて説明し、問題提起。

本論：根拠を示しながら考察を行い、問題解決に至る。

結論：問題提起から解決までを振り返る。

注・参考文献リスト

序論

本論

結論

テーマについて説明し、問題提起

- 日本におけるジェンダーギャップの現状
- 問題点は何か、何を明らかにするか
- 取り上げる問題点について、これまでどのような議論があったか（＝先行研究）

序論

テーマについて説明し、問題提起

- 日本におけるジェンダーギャップの現状
- 問題点は何か、何を明らかにするか
- 取り上げる問題点について、これまでどのような議論があったか（＝先行研究）

序論

本論

結論

根拠を示しながら考察を行い、
問題解決に至る

- 論点 1、2 の調査方法と結果
- 調査結果に基づいた議論と結論

本論

根拠を示しながら考察を行い、問題解決に至る

- 論点 1、2 の調査方法と結果
- 調査結果に基づいた議論と結論

序論

本論

結論

問題提起から解決までを振り返る。
今後の課題（解明できなかった点）
を付け加えることもある。

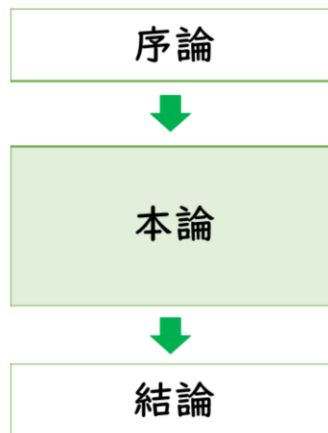
※本論で議論していないことを、
結論に書くのはNG。

結論

問題提起から解決までを振り返る。
今後の課題（解明できなかった点）を付け加えることもある。

※本論で議論していないことを、結論に書くのはNG。

書く時の順番



うりこ

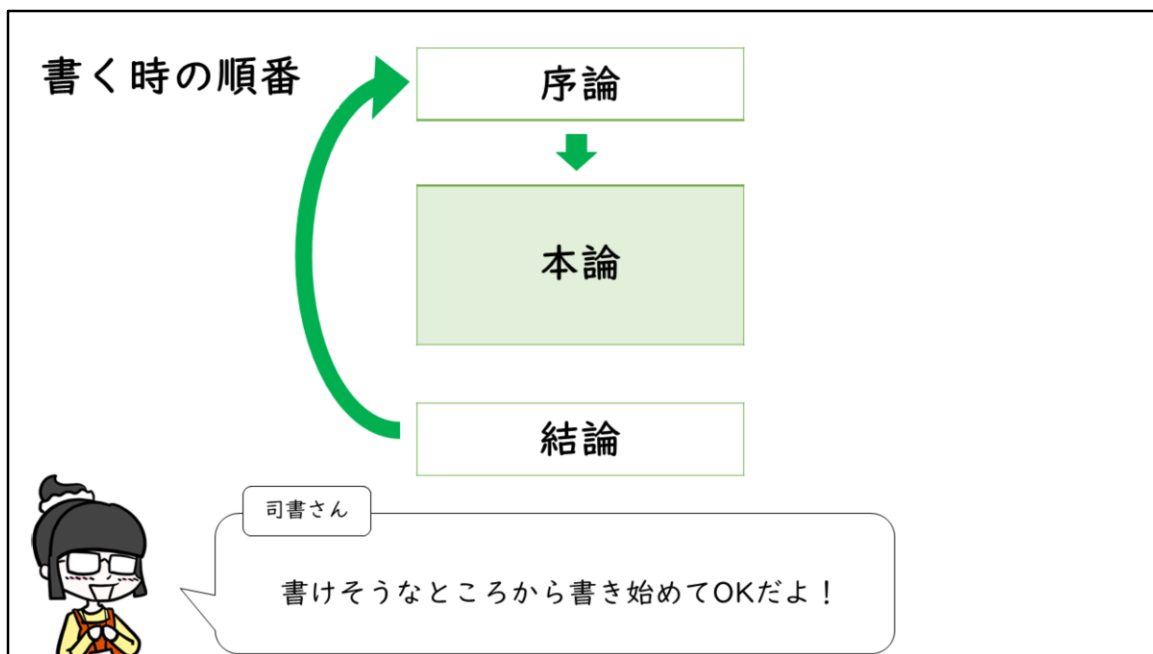
書く時は、序論から順番に書かないといけないのかな？



書く時の順番

序論
↓
本論
↓
結論

うりこ：書く時は、序論から順番に書かないといけないのかな？



司書さん：書けそうなところから書き始めてOKだよ！

チェックポイント②

書く時の注意点



うりこ

どうせいっぱいあるんでしょ……

チェックポイント②

書く時の注意点

うりこ：どうせいっぱいあるんでしょ……

注意点

1. ですます体、敬語表現、話し言葉は使わない
2. 事実と意見を区別する
3. 引用のルールに従う



注意点

1. ですます体、敬語表現、話し言葉は使わない
2. 事実と意見を区別する
3. 引用のルールに従う

注意点

1. ですます体、敬語表現、話し言葉は使わない

- ・こう考えます ⇒ こう考える
- ・筆者はこうおっしゃっている ⇒ 筆者はこう述べている
- ・この資料で見れる ⇒ この資料で見られる

注意点

1. ですます体、敬語表現、話し言葉は使わない

- ・こう考えます ⇒ こう考える
- ・筆者はこうおっしゃっている ⇒ 筆者はこう述べている
- ・この資料で見れる ⇒ この資料で見られる

注意点

2. 事実と意見を区別する

事実：歴史上の出来事。調査・研究で明らかになっていること。
客観的に確認できること。
※個人的な経験は「一般的な事実」にならない。

意見：主観が入ること。意見・推測・判断。

例 **×**この図書館は10冊も本を借りることができる。（10冊：事実、も：意見）
↓
○この図書館の貸出冊数は10冊で、近隣図書館に比べ多い。
○この図書館は最大10冊借りることができ、自分には十分な冊数である。

注意点

2. 事実と意見を区別する

事実：歴史上の出来事。調査・研究で明らかになっていること。
客観的に確認できること。
※個人的な経験は「一般的な事実」にならない。

意見：主観が入ること。意見・推測・判断。

例

×この図書館は10冊も本を借りることができる。（10冊：事実、も：意見）
↓
○この図書館の貸出冊数は10冊で、近隣図書館に比べ多い。
○この図書館は最大10冊借りることができ、自分には十分な冊数である。

注意点

3. 引用ルールに従う

- ① 必然性がある場合のみ、正しく引用する
- ② 過度の引用をしない
- ③ 自分の文章と引用文を区別する
- ④ 引用文の出所（出典）と著者名を明記する

注意点

3. 引用ルールに従う

- ① 必然性がある場合のみ、正しく引用する
- ② 過度の引用をしない
- ③ 自分の文章と引用文を区別する
- ④ 引用文の出所（出典）と著者名を明記する

- ① 必然性がある場合のみ、正しく引用する

3. 引用のルールに従う

- ① 必然性がある場合のみ、正しく引用する

- ② 過度の引用をしない

- ③ 自分と引用文を区別する



- ④ 引

引用のルールについて、もう少し詳しく見ていきましょう。

司書さん：引用のルールについて、もう少し詳しく見ていきましょう。

① 必然性がある場合のみ、正しく引用する

自分の意見の根拠になるなど、引用するための理由があるかを考える。

著者の意図を無視して、自分の都合の良いように抜き出すことは厳禁。

① 必然性がある場合のみ、正しく引用する

自分の意見の根拠になるなど、引用するための理由があるかを考える。

著者の意図を無視して、自分の都合の良いように抜き出すことは厳禁。

② 過度な引用をしない

レポートのメインは自分の文章。
必要なところだけを引用する。

② 過度な引用をしない

レポートのメインは自分の文章。
必要なところだけを引用する。

③ 自分の文章と引用文を区別する

- 引用文が短い場合は、「」（かぎ括弧）でくくる。

例) 著者は、「この問題は、大正時代には既に表面化し、新聞等でも報道され始めた」³と述べており……

- 長文の場合は、段落を下げる、フォントサイズを下げる、行間を取る等する。

例) 著者は次のように述べている。

この問題は、大正時代には既に表面化し、新聞等でも報道され始めた。これにより、政治家や学者だけで話題になっていたこの問題が、広く大衆の関心を集め、国家的な、ひいては外交的な問題となっていた。³

このような世間の状況から……

③ 自分の文章と引用文を区別する

- 引用文が短い場合は、「」（かぎ括弧）でくくる。

例) 著者は、「この問題は、大正時代には既に表面化し、新聞等でも報道され始めた」³と述べており……

- 長文の場合は、段落を下げる、フォントサイズを下げる、行間を取る等する。

例) 著者は次のように述べている。

この問題は、大正時代には既に表面化し、新聞等でも報道され始めた。これにより、政治家や学者だけで話題になっていたこの問題が、広く大衆の関心を集め、国家的な、ひいては外交的な問題となっていた。³

このような世間の状況から……

④ 引用文の出所（出典）と著者名を明記する

引用文（自分の意見の根拠）に誰でもアクセスできる
＝レポートの信頼性が担保される。

④ 引用文の出所（出典）と著者名を明記する

引用文（自分の意見の根拠）に誰でもアクセスできる
＝レポートの信頼性が担保される。

正しい引用：直接引用

「」で囲って自分の文章と引用文を区別している

石川（2017）は、「消費者にとって容リ法で規定する容器包装の分類は自明ではなく（中略）分別協力への心理的障害となっている」¹と指摘しており.....

参考文献

1. 石川雅紀「日本の循環政策の成果と課題」『国民経済雑誌』2017, 215(5), p. 1-27.

出典を明記している

正しい引用：直接引用

石川（2017）は、「消費者にとって容リ法で規定する容器包装の分類は自明ではなく（中略）分別協力への心理的障害となっている」^{※1}と指摘しており.....

○ 「」で囲って自分の文章と引用文を区別している

~~~~~

### 参考文献

1. 石川雅紀「日本の循環政策の成果と課題」『国民経済雑誌』2017, 215(5), p. 1-27.

○ 出典を明記している

## 正しい引用：直接引用

元の文章に誤字脱字があったとしても、そのまま書きます。  
そして日本語論文なら「ママ」などの記号を付けて、原文が間違っている可能性があること、引用ミスでないことを示しましょう。

例：

「この問題は大将時代には既に表面化し、新聞等でも報道され始めた」という文章を引用する場合

- 「この問題は大将〔ママ〕時代には既に表面化し、新聞等でも報道され始めた」と述べており、
- ✕「この問題は大正時代には既に表面化し、新聞等でも報道され始めた」と述べており、

## 正しい引用：直接引用

元の文章に誤字脱字があったとしても、そのまま書きます。  
そして日本語論文なら「ママ」などの記号を付けて、原文が間違っている可能性があること、引用ミスでないことを示しましょう。

例：

「この問題は大将時代には既に表面化し、新聞等でも報道され始めた」という文章を引用する場合

- 「この問題は大将〔ママ〕時代には既に表面化し、新聞等でも報道され始めた」と述べており、
- ✕「この問題は大正時代には既に表面化し、新聞等でも報道され始めた」と述べており、



+

注・参考文献リスト



### 注・参考文献

レポートの末尾に、引用した文献・参考にした文献のリストを付ける。

参考文献の書き方は、セルフラーニングを活用してください。

<https://lib.kobe-u.ac.jp/kulip/top/manual/#reference>

### 注・参考文献

レポートの末尾に、引用した文献・参考にした文献のリストを付ける。

参考文献の書き方は、セルフラーニングを活用してください。

<https://lib.kobe-u.ac.jp/kulip/top/manual/#reference>

### 書くときのポイント

- できあがりは序論⇒本論⇒結論だが、書きやすいところから書いてOK
- 注意点
  1. ですます体、敬語表現、話し言葉は使わない
  2. 事実と意見を区別する
  3. 引用のルールに従う
- 引用のルール
  - ① 必然性がある場合のみ、正しく引用する
  - ② 過度の引用をしない
  - ③ 自分の文章と引用文を区別する
  - ④ 引用文の出所（出典）と著者名を明記する



### 書くときのポイント

- できあがりは序論⇒本論⇒結論だが、書きやすいところから書いてOK
- 注意点
  1. ですます体、敬語表現、話し言葉は使わない
  2. 事実と意見を区別する
  3. 引用のルールに従う
- 引用のルール
  - ① 必然性がある場合のみ、正しく引用する
  - ② 過度の引用をしない
  - ③ 自分の文章と引用文を区別する
  - ④ 引用文の出所（出典）と著者名を明記する

# レポート執筆のまとめ

レポート執筆のまとめ

## レポート執筆の5ステップ

### 1. テーマを決める

テーマを正確に把握。  
わからないことは辞書などで確認。  
大きすぎるテーマは絞り込む。

### 2. 問いを立てる

小さな疑問をたくさん書き出す。  
なぜ～なのか、どうすれば良いのか、～すべきか、という問いを立てる

### 3. 論点を探す

公式サイトやニュース、データベースで情報やデータを入手。  
図書や論文で先行研究の確認。

### 4. 組み立てる

結論にいたるまでの流れを確認。  
調べた結果から考えられることは何か。

### 5. 書く

序論（問題提起）、本論（根拠と考察）、結論（振り返り・残った課題）



## レポート執筆の5ステップ

### 1. テーマを決める

テーマを正確に把握。  
わからないことは辞書などで確認。  
大きすぎるテーマは絞り込む。



### 2. 問いを立てる

小さな疑問をたくさん書き出す。  
なぜ～なのか、どうすれば良いのか、～すべきか、という問いを立てる。



### 3. 論点を探す

公式サイトやニュース、データベースで情報やデータを入手。  
図書や論文で先行研究の確認。



### 4. 組み立てる

結論にいたるまでの流れを確認。  
調べた結果から考えられることは何か。



### 5. 書く

序論（問題提起）、本論（根拠と考察）、結論（振り返り・残った課題）



司書さん：書いたレポートは読み直しましょう。  
文章として問題ないか、引用は正しくできているか、内容や体裁も確認しましょうね。

# お疲れさま

# 完



監修：附属図書館研究開発室教育研究支援部会  
制作：神戸大学附属図書館情報リテラシー係

お疲れさま

完

監修：附属図書館研究開発室教育研究支援部会

制作：神戸大学附属図書館情報リテラシー係